

～音楽ボランティアさんからのお便り～

金木犀の香る季節になりました。「えん」に集っていらっしゃる方々、お元気で過ごしてはいかがでしょうか？

桜が散った後の雪に驚いている間もなく、世界中が怯える「コロナウィルスの襲来」で緊急事態宣言、重ねて酷暑、水害等にあたふたしているうちに秋を迎えてしまいました。コロナは未だ収束の気配が見えていません。感染が広がってきた3月以来、半年以上ご無沙汰している「えん」ですが、或る日デイホームえんの三輪さんからお電話を頂きました。咄嗟に私は「歌の会」の再開のお知らせかと期待の声を弾ませたのですが…。電話の内容は私の日常を気遣って下さるお尋ねと、「えん」に集う方々の近況をお知らせくださるものでした。その心遣いにコロナ禍に閉塞し鬱々としている生活に励ましをいただきました。「グループホームの皆さん、ご家族との面会を制限されて淋しそうですけれど 揃ってお元気でいらっしゃいます」とのお話を聞き安堵しました。同時に、あのチョット重たい玄関の引き戸を開けると、二階のリビングから聞こえる皆さんの話し声と、味噌汁の匂いが思い出されました。なにげなく過ごしていた日常がいかに尊いものであったのか、身にしみて感じています。

「小さい秋見つけた」「里の秋」「故郷の空」「旅愁」…、尽きることなく元気な美声を聞かせて下さる皆さんとの再会を切に願っています。事業所のご苦勞も「えん通信 No.65」からひしひしと伝わってまいります。世界中、異例づくめの事態が続いていますが、収束の日が来ることを信じて、お互い感染予防、健康維持に努めて参りましょう。自粛要請、三密規制など重苦しい生活の中で、中学生の詠んだ一首に励まされました。

『久しぶり 元気に会えるその日まで 単語覚えてじっと我慢だ』
(愛知県蒲郡中学歌集『コロナに負けるな』より)

燦々と日の差すサンデッキで、お会いする日を焦らず待っています。

10月1日 音楽ボランティア 高橋 悦子

